

平成25年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【事後評価】

	研究課題名	コメント
1	県民参加型の点検と助言による施設改善に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉のまちづくりやユニバーサル社会づくりが進展する中で必要不可欠な研究である。</li> <li>・研究と提案にとどまらず、県民への情報発信までつながるようにしていただきたい。</li> <li>・点検助言項目のツール開発、研修プログラム内容の今後の進展を期待する。</li> </ul>
2	福祉のまちづくりアドバイザー制度を強化するための指針策定 -既存建築物や小規模建築物におけるバリアフリー配慮と工夫-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉のまちづくりが一部の専門家だけに頼る時期を過ぎ、施設に関わる県民が気軽に利用できる環境づくりが求められる中で適切なテーマと考える。</li> <li>・さらにいろいろな工夫や情報発信をしていただきたい。</li> </ul>
3	高齢者・障害者の生活支援交通づくり普及に向けた研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に応じた対応が必要で、一律の方法が見出しにくい問題である。地域交通の支援を効率よく進められる方法を探っていただきたい。</li> <li>・電動車イスを対象にした点は評価できる。</li> <li>・地域性の差異をどのように解釈するかが課題である。</li> </ul>
4	ICT機器を活用した知的障害児・発達障害児のコミュニケーション支援に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者団体等からの期待も大きく、継続した支援をお願いしたい</li> <li>・今後、情報の集積と発信等ができればよい。</li> <li>・時宜を得たテーマなので課題を明確にして実用的なアプリケーションを開発してほしい。</li> </ul>

5	<p>盲ろう者の自立生活支援のための インターフェースと支援機器に関する研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者のニーズの把握が難しい場合も多いかと思うが、引き続きサポートしていただきたい。</li> <li>・具体的手法、機器についての検討がなされている。</li> <li>・当事者による今後の評価を期待したい。</li> </ul>
6	<p>無線式身体動作計測評価システムに関する研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの開発、評価だけにとどまらず、企業からの製品化にも期待する。</li> <li>・計測手法として先駆性があり、極めて成果が期待できる。</li> <li>・ロボット研究等にもつなげる発展性のあるテーマである。</li> </ul>
7	<p>高齢者・障害者の個別のニーズに対応した福祉用具等の開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のニーズに対応することは、単にその対象者にとどまらず、同様のケースに適応できると考えられるので、展示ホールや情報誌などを活用して情報発信に努めていただきたい。</li> <li>・限られた資源の中で効率よく研究が進められている。</li> <li>・個別ニーズに丁寧に対応しており、具体的成果がある。</li> </ul>
8	<p>転倒・転落リスク評価指標に関する研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用例なども報告してほしい</li> <li>・多くの施設や病院でニーズがあることと考えられるため、必要とする人がこの手法に容易にたどりつくことができるようなアクセス方法を検討し、広く周知してほしい。</li> <li>・リスクの環境条件からの分析にも期待する。</li> </ul>